

みずほCustomer Desk Report 2023/04/06 号 (As of 2023/04/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	131.58 AUD/USD
TKY 9:00AM	131.43	1.0958	143.88	1.2504	0.6760
SYD-NY High	131.83	1.0969	144.39	1.2512	0.6780
SYD-NY Low	130.64	1.0892	142.69	1.2433	0.6678
NY 5:00 PM	131.39	1.0908	143.10	1.2461	0.6722

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,482.72	80.34	日本2年債	▲0.0300%	0.0000%
NASDAQ	11,996.86	▲ 129.47	日本10年債	0.4700%	0.0700%
S&P	4,090.38	▲ 10.22	米国2年債	3.7901%	▲0.0300%
日経平均	27,813.26	▲ 474.16	米国5年債	3.3701%	▲0.0164%
TOPIX	1,983.84	▲ 38.92	米国10年債	3.3080%	▲0.0297%
シカゴ日経先物	27,760.00	▲ 395.00	独10年債	2.1760%	▲0.0860%
ロンドンFT	7,662.94	28.42	英10年債	3.4260%	▲0.0055%
DAX	15,520.17	▲ 83.30	豪10年債	3.2430%	▲0.0260%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	13.05%	0.32%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	11.89%	0.22%
NY金	2,035.60	▲ 2.60	USDJPY 6M Vol	11.29%	0.16%
WTI	80.61	▲ 0.10	USDJPY 1M 25RR	▲2.07%	Yen Call Over
CRB指数	272.25	1.10	EURJPY 3M Vol	11.71%	0.28%
ドルインデックス	101.85	0.27	EURJPY 6M Vol	11.31%	0.19%

東京	東京時間のドル円は131.43レベルでオープン。五・十日に伴う実需の買いやRBNZが市場予想に反して50bpの利上げを実施したことでの円売りも支えとなり131.83まで上昇。その後は特段材料もない中、131円台半ばで動意なく推移すると131.51レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、131.51レベルでオープン。新材料に乏しい中、午後にISM非製造業景況指数などの発表を控え、方向感なく推移し131.23まで売られる。その後131.78まで上昇したが、米3月ADP民間雇用の発表に向けて下落し、結局131.47レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は131円台後半でスタート。ゴトー日に伴う本邦実需の買いや、RBNZが発表した利上げ幅が予想以上だったことから上昇したクロス円にサポートされ、131.83まで上昇。しかし、その後欧州株が軟調に推移する中、ユーロ円の売りが重しとなり、131.20台まで反落し、131.47レベルでNYオープン。朝方に発表された米3月ADP雇用統計数が予想を下回ったほか、続いて発表された米3月ISM非製造業景況指数も予想より悪化し、米金利低下とともに売りが強まり安値となる130.64まで下落。売りが一服すると、ドルが買い戻され131円台を回復。午後は米金利の小幅上昇に伴い買い戻し優勢の展開。131.30近辺まで値を戻し、結局131.39レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ばでスタート。アジア時間では米経済指標発表を控えて様子見ムードが広まり、狭いレンジでの推移が続く。欧州時間に入り独2月製造業受注(前月比)が予想を大きく上回るも、特段ユーロ買いの反応は見られず、その後じり安推移となり、1.0942レベルでNYオープン。朝方は米経済指標の内容を受け、一時はドル売り地合いから1.0967まで急伸。その後ドルが買い戻され、1.0901まで反落。午後は安値1.0892をつけるも、その後下げ渋り、結局1.0908レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・鈴木

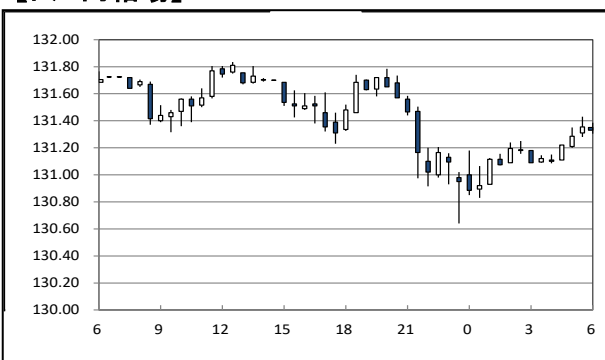
【昨日の指標等】

Date	Time	Event			結果	予想
4月5日	11:00	NZ	RBNZオフィシャル・キャッシュレート	4月	5.25%	5.00%
	15:00	独	製造業受注(前月比)	2月	4.8%	0.3%
	21:15	米	ADP雇用統計	3月	145K	210K
	21:30	米	貿易収支	2月	-\$70.5B	-\$68.8B
	23:00	米	ISM非製造業景況指数	3月	51.2	54.4

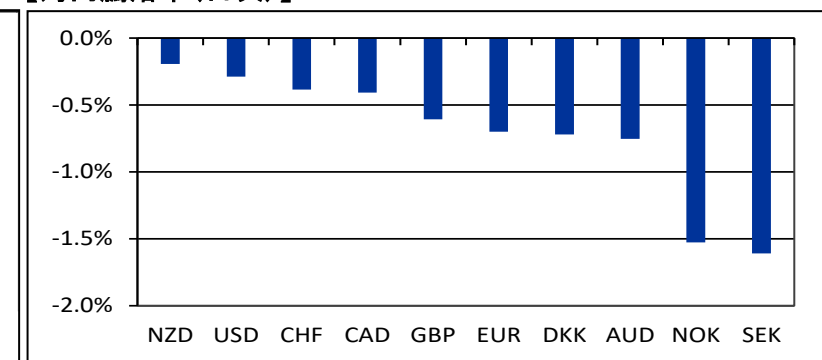
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
4月6日	10:45	中	Caixin中国PMIコンポジット	3月	-	54.2
	10:45	中	Caixin中国PMIサービス業	3月	55.0	55.0
	15:00	独	鉱工業生産(季調済/前月比)	2月	-0.1%	3.5%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	1-Apr	200K	198K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.20-131.70	1.0830-1.0980	142.20-143.70

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は下落。東京時間は131.43レベルでオープン後、本邦実需のドル買いやRBNZ発表の利上げ幅が予想以上だったことを受けてクロス円が上昇する流れに、ドル円も131.83まで上昇する局面もあった。NY時間発表の米3月ADP雇用統計及び米3月ISM非製造業景況指数が予想比悪化したことを受け、米金利が低下。ドル円は一時130.64まで下落後、買い戻しが入り131.39レベルでクローズ。
本日のドル円も、上値の重い展開を予想。今週は米JOLT件数に続き、米3月ADP雇用統計などの米労働市場関連の指標が軒並み予想比悪化。これを受け引続き米利下げの開始時期を織り込む相場になると予想されるため、ドル円には下押し圧力が強まりやすいか。